

知覚過敏症

「ズキン!」、「キーン!」。ある日突然やってくる『知覚過敏』



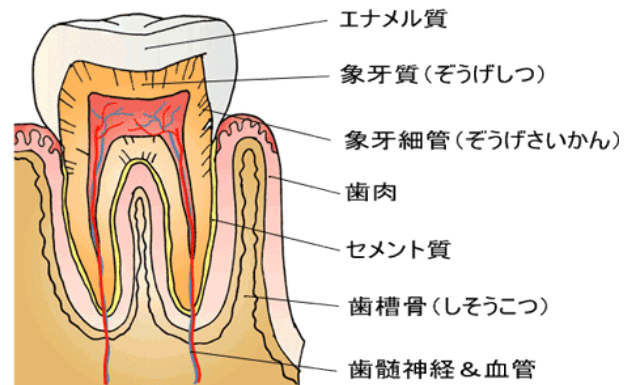
いままでは何でもなかったのに、冷たい物を飲食したり、歯ブラシの毛先が当たったり、風が当たるだけで「歯がしみる（痛む）」症状が出たら、それはまさに知覚過敏かもしれません。

知覚過敏の症状

知覚過敏の症状としてもっとも大きな特徴なのが、「**一時的に歯がしみる**」ということです。

知覚過敏は歯の表面部分のエナメル質が何らかの原因で傷つき、削れてしまう事によって象牙質が露出し、象牙質にさまざまな刺激が加わって、象牙細管⇒歯髄神経⇒脳に刺激が伝わり、「ズキン!」といった歯がしみる症状へと繋がります。

- ☆冷たい水を飲んだ時
- ☆歯ブラシで歯をこすった時
- ☆甘いものを食べた時
- ☆果物、柑橘類を食べた後
- ☆お茶、塩味
- ☆風が当たった時



知覚過敏の原因

- ◎間違った歯磨き
- ◎歯ぎしり&噛み合わせが悪い
- ◎歯が折れたり亀裂
- ◎歯周病
- ◎虫歯

◎歯科医での治療後（歯石除去後）

歯周病になると歯肉が後退する（歯茎が下がる）ようになるため知覚過敏の症状が出やすくなります。しかし歯肉が後退しても歯石が露出した象牙質を覆っている場合、直接、象牙質に刺激が加わらないため知覚過敏の症状がでませんが、歯科医で歯石を除去すれば象牙質が露出するため知覚過敏の症状が出やすくなるのです。



では歯石を除去しない方が良いのでは?と思われる方もいるかもしれませんが、歯石は歯周病や虫歯の大きな原因になりますので、付着したら早めに、また定期的に除去しなければなりません。

「歯がしみる＝知覚過敏」と勝手に自己判断しても、虫歯、歯周病の可能性も十分考えられますので、歯がしみる症状が出たら早めに歯科医院で診察を受ける事をオススメします。